

概要版

平成26年度
長岡市社会資本総合整備計画等
事業評価監視委員会

計画名:地域再生計画

「越路・小国地域の優れた
自然環境と観光資源が
広域的に連携した観光交流ネットワーク」

交付金名:地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)

評価種別:事後評価

平成27年3月19日
新潟県・長岡市

1

本計画の概要

■目標を定量化する指標

指標1 森林整備面積

実績 44ha

⇒ 目標 57ha (30%増加)

指標2 観光客入込客数

震災前(H14)442,850人 震災後(H17)289,270人

⇒ 目標 500,000人 (中越地震前の最大値から10%増加)

指標3 広域観光ルートの形成(移動時間の短縮)

従来ルート 78分

⇒ 目標 将来ルート62分 (観光ルート16分短縮)

3

本計画の概要

■地域再生計画の名称

越路・小国地域の自然環境と観光資源が
広域的に連携した観光交流ネットワーク計画



越路地域のゆるキャラ
るんるん

■地域再生計画の作成主体の名称

新潟県、長岡市



小国地域のゆるキャラ
おぐりん

■地域再生計画の目標

- 効率的な施業による、森林資源の活用促進、森林整備面積増大
- 森林が持つ多面的機能の保全と自然環境の観光ルート確立
- 観光資源への円滑なアクセス、高速交通体系の有効活用による移動時間短縮
- 地域滞在時間の拡大による多様な旅行ニーズへの対応、観光交流の促進
- 観光客の増大による地域活力の向上、新潟県中越地震からの復興

2

整備箇所:市道越路121号線ほか

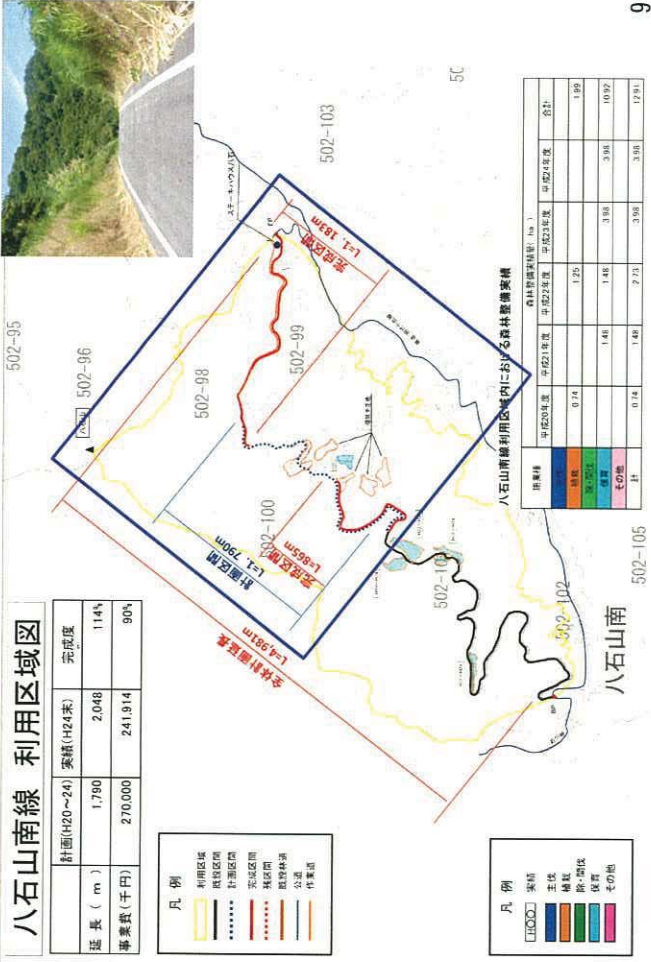


4

整備箇所：林道 八石山南線

①数値指標の結果

意見聴取事項



3 成果結果の内容にかかる審議

(1) 成果の達成度評価

指標	従前値		目標値		評価値		達成度
	基準年度	H19	目標年度	H24	評価年度	H24	
指標1 森林整備面積		44ha	H24	57ha	H24	59ha	○
指標2 観光客入込客数 (計画区域 越路・小国地域)		442,850人	H24	500,000人	H25	308,463人	△
指標3 広域観光ルートの形成		78分	H24	62分	H25	68分	△
その他 指標1 スマートフォン利用者数	-	-	H24	1,100台/日	H25	2,290台/日	○
その他 指標2 観光客入込客数 (長岡市全域)	H14	6,548,410人	H24	7,200,000人	H25	7,855,600人	○

目標達成度の凡例：○ 評価値が目標値を上回った場合
 △ 目標達成はしていないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
 × 目標値に達成しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

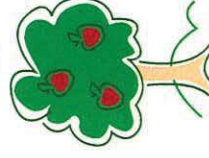
指標1：森林整備面積

意見聴取事項

・森林整備面積

従前値 (H19) 44ha
↑
目標値 (H24) 57ha
<
評価値 (H24) 59ha

達成度○



従前値の30%増を目指した。森林基幹道 八石山線・森林管理道 八石山南線の整備により、利用区域内の森林整備が促進され、目標の57haを超える59haが整備された。

実質的森林整備

路線名	エリア内 利用区域 (ha)	人工林 面積 (ha)	保安林 面積 (ha)	森林整備面積 (ha)	
				従前値 (H19) ※実績H14~H19	目標値 (H24) 計画H20~H24
八石山線	609.55	117.50	101.74	39.01	50.70
八石山南線	186.29	6.34	2.82	4.94	6.40
計	795.84	123.84	104.54	43.95	57.10
					実績H20~H24
					45.63
					12.91
					58.54

指標2：観光客入込客数(計画区域)

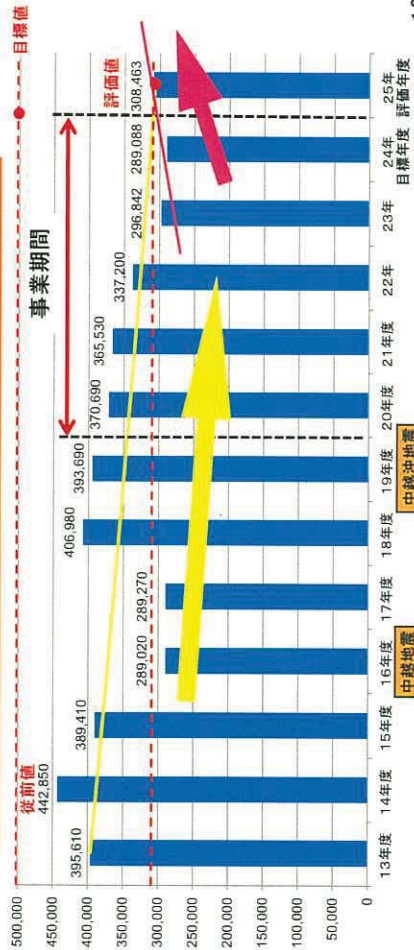
越路・小国地域観光客入込客数(人) 達成度△

従前値(H14) 442,850人

目標値(H24) 500,000人

評価値(H25) 308,463人

震災前の最大値から10%増を目指した。目標達成には至らなかったが、近年において改善傾向の兆しがみられる。



指標3：広域観光ルートの形成

市道整備による移動時間の短縮 達成度△

従前値(H18) 78分

目標値(H24) 62分

評価値(H25) 68分

市道の整備により、移動時間を16分短縮することを目標としたが、現在10分の短縮にとどまる。

道路が一部未完成のため、H18から10分短縮の68分となっている。



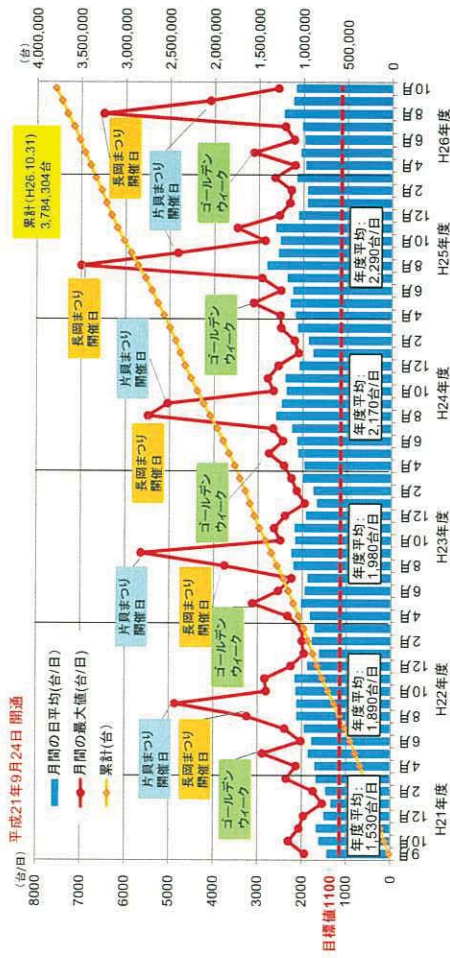
その他指標1：市道越路121号線ほか(長岡南越路スマートIC)の利用状況

スマートIC利用者数 達成度○

従前値 ー

目標値(H24) 1,100台/日

評価値(H25) 2,290台/日



その他指標2：観光入込客数(長岡市全域)

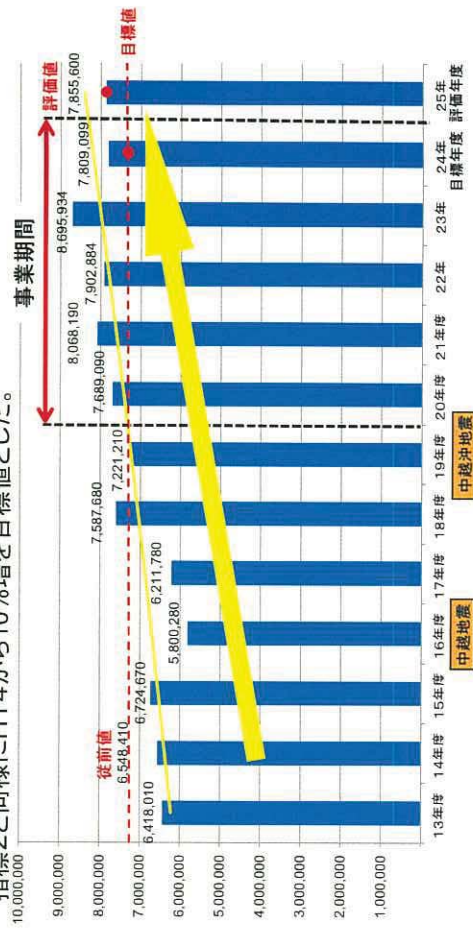
長岡市観光客入込客数(人) 達成度○

従前値(H14) 6,548,410人

目標値(H24) 7,200,000人

評価値(H25) 7,855,600人

指標2と同様にH14から10%増を目標値とした。



定量的に表現できない定性的な効果：地域防災力の強化

●防災マップづくりマニュアル



▲町内の点検作業

▲安全・安心マップの作成

▲防災マップ作成の手引き

意見聴取事項

意見聴取事項

定量的に表現できない定性的な効果：地域防災力の強化

計画区域内の自主防災会参加人数



18

3 成果結果の内容にかかる審議

(2) 事業の効果発現要因の整理

指標にかかる効果発現要因の整理

事業名	指標1 「森林整備面積」	指標2 「観光入込数」 計画区域	指標3 「広域観光ルート の形成」	その他指標1 「SIC利用者数」	その他指標2 「観光入込数」 長岡全域
計画事業					
【市道】道路121号線ほか (長岡南越路SIC)整備事業	○	○	○	○	○
【市道】道路445号線 (越路原B/P)整備事業	○	○	○	○	○
【市道】道路817号線 (越路原B/P)整備事業	○	○	○	○	○
【林道】森林基幹道八石山線整備事業	○	○	○	○	○
【林道】森林基幹道八石山線整備事業	○	○	○	○	○
特産物のブランド化	○	○	○	○	○
その他の計画事業	○	○	○	○	○
へんなかつurisumの展開 (小国地域グリーンツーリズム)	○	○	○	○	○
地域防災マップ整備事業	○	○	○	○	○
長岡南越路スマートICの利用促進	○	○	○	○	○
越路原ハイパスによる地域観光資源の活用	○	○	○	○	○
越路原ハイパスは整備事業 (関連事業 都市再生整備計画)	○	○	○	○	○
その他の追加事業	○	○	○	○	○

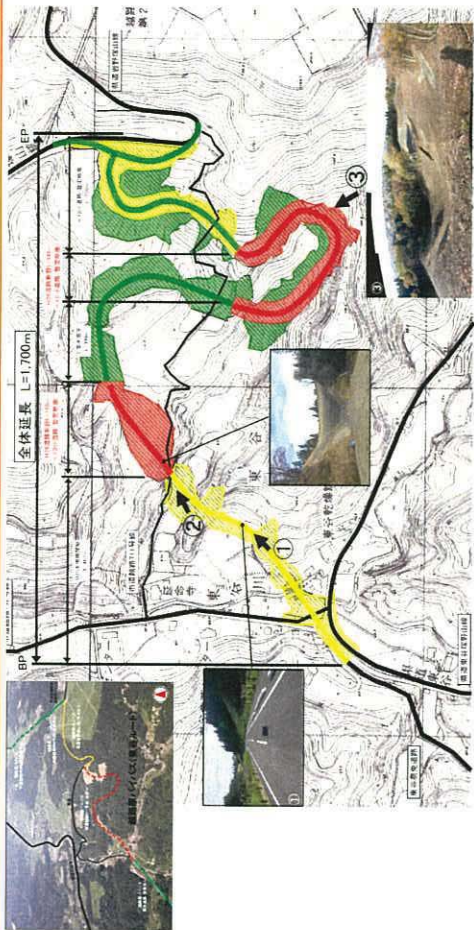
凡例：◎直接的に貢献 ○間接的に貢献 一関連性なし (一)計画期間内は未実施

19

意見聴取事項

20

今後の地域再生方策(市道越路817号線)



道整修交付金事業		道整修交付金事業		社会資本整備補助交付金事業					
H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
基礎調査 L=1700m	橋梁新設工事 L=15m R=1.5m	道整修工事 L=200m	道整修工事 L=400m	道整修工事 L=400m	道整修工事 L=540m	道整修工事 L=110m	道整修工事 L=240m	道整修工事 L=420m	道整修工事 L=390m
調査(路線・トンナリ)調査(詳細設計)	用地取得 A=10104㎡	用地取得 A=10104㎡			(A)市道越路 (A)市道越路 (A)市道越路	(A)市道越路 (A)市道越路 (A)市道越路	(A)市道越路 (A)市道越路 (A)市道越路	(A)市道越路 (A)市道越路 (A)市道越路	舗装新設工事 L=140m
		物産振興 営業・構築							舗装新設工事 L=140m

21

4. 今後の地域再生等にかかる審議

今後の地域再生方策

事業前の課題	まちの課題の変化	効果持続方策 改善方策	想定される事業
地域間の協力・連携の取り組み不足	達成されたこと	・へんな観光リズムや各種イベントなどの観光資源を活かし、地域資源の掘り起こしにより、地域の魅力を高め交流人口の拡大を図る ・地域防災マップマニユアルの普及	・観光ボランティアガイド養成講座の開催 ・地域防災マップを活用した自主防災活動の促進
	残された課題 新たな課題	・災害に強いまちづくりを進めていくため、今後も整備促進を図る ・営林活動への支援	・他事業利用による越路817号線の整備 ・他事業利用による林道の整備
高速交通体系の有効活用	達成されたこと	・新たな交通結節点となる長岡南越路スマートICの整備により、利便性が格段に向上	●●万台到達イベントの実施
	残された課題 新たな課題	・更なる広域交流の推進 ・大規模災害時の機能強化	・スマートICへのアクセス道路の整備

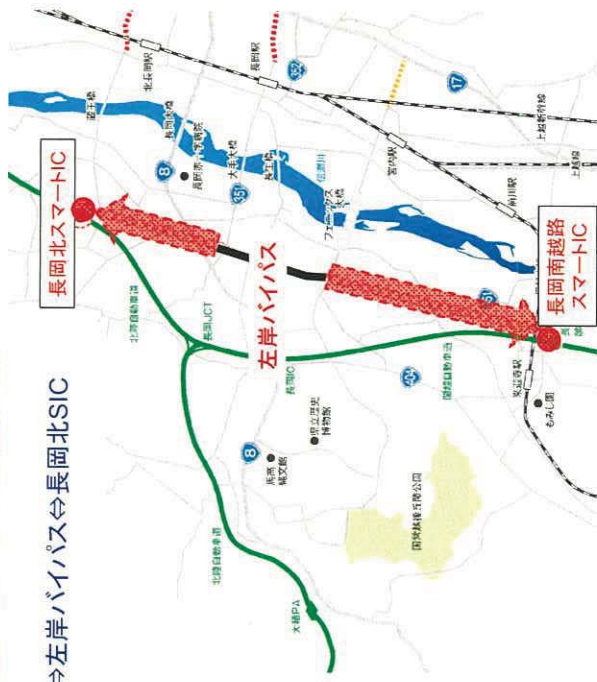
22

23

今後の地域再生方策(スマートICへのアクセス道路)

スマートICアクセス道路⇒左岸バイパス南北延伸事業

長岡南越路SIC⇔左岸バイパス⇔長岡北SIC



24